ぬくもり情報局

森林セラピー通信

森のたより

森林セラピーガイドレベルアップ研修を開催

1月22日(月)、森林セラピーガイドを対象に「救命救急講座」を開催しました。

包帯法を実践で学びました

森林セラピーに参加されるお客さまに、安全に安心して森を散策していただくために、ガイドの救命救急のスキル・知識は必要不可欠です。

日本赤十字社島根県支部の救急救命士を講師に招き、ハチやヘビ等の危険生物への対処をはじめ、熱中症や裂傷等、ガイド中の事故についてガイドとしてどう対処するかを一日かけて教わりました。教わった内容はしっかり復習して、日々のガイドで活きるものにしていきます。

森林セラピー博学講座

まだ雪深い中、枝は雪の中に埋まっているのに、その先に咲く大きさ1センチほどの小さな黄色い花。アテツマンサクです。

アテツマンサクの花

マンサクの花は、早春に葉に先立って咲きます。まだ、雪深いセラピーロードで見つけると心が躍ります。

ロウバイ・ミモザ・アカシアなど、早春に咲く花はどれも黄色です。黄色は太陽の色。暖かそうで目立つので、昆虫にみつけてもらいやすいからでしょうか?

ミニアック&おもしろ歴史ばなし 飯南町

言うな、これは程原のナイショ話

谷地区程原集落。毎年秋には入道祭が行われる。これは平家の落人伝説に伝わる程原入道をまつるもの。そうです、飯南町にも平家伝説があったのだ!

壇ノ浦の合戦を最後に平家は滅亡。生き残った平家の武士たちの運命は?源氏に追われ、深い山奥へ逃れた平家落人伝説は、日本各地に語り継がれている。程原集落もその一つ。平清盛の甥である教経(のりつね)の子を身ごもった奥方が、お供と逃げ込んだのがこの場所。住人はこの姫を迎え入れ、「姫がいることを人に言うな」ということから「遊那(ゆうな)御前」と呼んでかくまった。

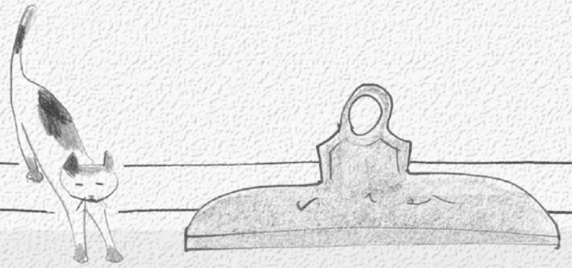
住民の温かい心遣いにより、御前は元気な男の子を産んだ。名は程原入道。その後、長徳寺を建立し、程原集落の発展に力を注ぎ、母と共に幸せに暮らしたという。

噂話はネット回線より早く伝わる田舎で、言うな(遊那)といいながら秘密を守るのは大変だったことだろう。

※「遊那」の表記には諸説あります。本文では、入道神社由緒記に記載の「遊那」としています。

詳しく聞くなら、谷公民館へ!

■お問合せ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76・2864



俳句

琴峯華俳句会 二月例会作品抄

猪垣に囲まれ人の暮しあり　安部　豊枝
薄氷の下で耐へにし鯉二匹　土池　博子
春を待つ嫁の横顔美しき　足立　大樹
天空を舞うも競技や冬五輪　松平富美子
橋くぐる遊覧舟や置炬燵　石田シヅカ
薬売り残せし一句春灯　八嶋　敏江
青き色芽吹き初めたり吾が庭に　垣内　良野
本棚に収まりそうな雛探す　山倚智惠美
春立つやグラスほのかに温もりて　佐々木康子
ふり仰ぐ空の広さや雪卸し　八嶋　昭男
一人撒き一人で拾う福の豆　森　征子

短歌

赤名短歌会 二月詠草

ゆらゆらと降りくる大きな牡丹雪仮名一行の文字(もんじ)の如し　岩佐　恒子
笑む母の手の温もりを受け取りて「じゃあまたね」とじんわり戸を引く　星野　敦子
「東京に積もる大雪十五センチ」とどう見る我町ニュースのテンション　澤田　勝登
これでもかこれでもかと降る雪雪に緊張しながら除雪機を使う　門所　詠子
わらわらと雪に繰り出す園児らの見上げる口に雪ひら飛び込む　烏田　勝信
入院を見送りくれしカメ虫は退院を待ちおり照明(あかり)つければ　中村三四二
懸命に重機をあやつり雪をかく人に亡父の背を垣間(かいまみ)見る　本間　麗子
降る雪にみすゞの心想わるる万物にそそぐ慈愛深さを　吉川　暎子
「おらが山のみかん」と名乗るおらが顔熊本のみかんを連れ立ち帰る　石田フクエ
雪やんで時が止まっているような真昼間の野を郵便車来る　澤田久美子
吾と云ふ曲がりし輩世(やから)に出でて算用知らずも名をこそ惜しめ　清原　豊明

すこやかに

2月届出分

新生児	届出人	地区
山田　隼也(しゅんや)様	弘　幸(野　萱)	
田村　琴葉(ことは)様	紘　(上来島)	
烏田　康平(こうへい)様	範　昭(上来島)	

やすらかに

2月届出分

お名前	親族	地区
藤原　薫様(97)	光　夫(都加賀)	
朽木　猛雄様(92)	博　文(谷)	
安部　ハツノ様(100)	孝　志(上来島)	
木村　一登様(76)	顕　彦(下来島)	
内藤　スミコ様(91)	眞　一(下来島)	
大場　鶴代様(98)	輝　行(下赤名)	
橋本　明宣様(92)	弘　宣(上赤名)	
五明田　利子様(103)	壽　(川東)	
原　正昭様(69)	悠　将(佐見)	
景山　三与榮様(92)	厚　(野萱)	
榎田　恭子様(92)	石田一登(上赤名)	

今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

あいさつは
えがおになれる
まほうだよ

赤名小5年　津和野(つわの)　陽希(はるき)さん
家族名　津和野　明子(あきこ)さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

大万木山(1218m)。春、山頂付近には「サンカヨウ」の花が咲きます。夏にはブナ林の緑が映え、秋は紅葉、冬は雪庇(せっぴ)を見に登山者が訪れます。

写真は、冬、明け方の大万木山山頂。夜明け前の空に、星々が輝きます。空気の澄んだ田舎だからこそ見える景色。まだまだ知らない魅力がたくさんのわがまち。